

平成29年度 都市整備部長「政策宣言」達成状況

都市整備部長 島崎靖夫

○ 平成29年度重要事業

事業名	安全・安心な道路整備
目標	市内地域間を連絡する道路や生活に密着した道路の整備を進め、交通ネットワークの強化を図ります。 また、引き続き道路施設の定期点検と併せて、橋梁の耐震化及び長寿命化対策や損傷の著しい幹線道路の補修工事を実施し、安全で安心して利用できる道路づくりを進めます。
年度末達成状況	重要幹線道路、地域連携道路及び生活道路については、今年度予定していた箇所の整備を完了しました。また、道路・橋梁の点検を行い、市道の大規模舗装補修を2路線、道路橋梁の耐震化を1橋実施しました。
自己評価	市道については、今後も順次整備していきます。また、道路施設、橋梁の総点検及び補修工事等を計画的に実施し、安全・安心な道路交通の確保に努めます。

事業名	生活環境の充実
目標	快適な生活空間の形成に加え、新たな交流やにぎわいを育む魅力ある地域づくりを進めます。 また、老朽化が進む公園施設については、予防保全に留意し計画的な更新や安全対策の強化を図ります。
年度末達成状況	小杉駅周辺の下条川千本桜ポケットパークの整備は平成30年度完成に向け工事に着手し、越中大門駅周辺の都市計画道路駅前線では、一部用地買収が完了しました。 また、公園施設については、足洗瀉公園の照明灯更新や時計台の更新を実施しました。
自己評価	小杉駅及び越中大門駅周辺の安全性や利便性を高めるため、引き続き事業の推進に努めるとともに、平成30年度から新湊地区において、都市再生整備計画事業に着手します。 また、年々老朽化が進む公園施設については、遊具等の長寿命化に努めます。

事業名	住宅環境の充実
目標	若い世代の定着や転入、空き家の発生防止と流通促進を図るため、「三世帯同居住宅支援」による住宅リフォーム補助を新設するとともに、既存の「若者世帯定住促進家賃補助」、「空き家対策支援」及び「指定宅地取得支援」の制度を拡充し、定住人口の増加及び良好な居住環境の形成を進めます。
年度末達成状況	住宅環境の充実のため各種施策の交付実績は、「三世帯同居住宅支援事業」で10件、「若者世帯定住促進家賃補助事業」で15件、「空き家対策支援事業」で21件、及び「指定宅地取得支援事業」では84件の世帯に交付しました。

自己評価	<p>若者世帯の定着及び転入の促進、空き家の発生防止のための施策は、今後も制度の効果を検証し推進していきます。</p> <p>また、支援制度のより一層の周知を図り、定住人口の増加と良好な街並みの維持に努めます。</p>
------	---